

たんほほ

NO 1 4 4

H11年 6月 1日

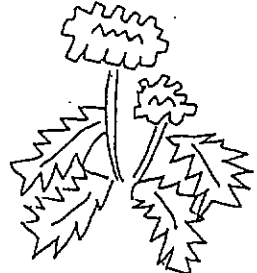
一発 行一

〒869-1217

熊本県菊池郡
大津町森54-2

社会福祉法人
三気の会

三気の里
☎096-293-8100



二題

園長 松田 健

一、定数

複雑怪奇な話しを一つ。施設には職員定数というものがありません。入所者数+4、3(一人の職員が平均的に4、3人の利用者を担当する)という数値。絶対数)直接処遇職員の定数という公式があるので計算すると三気の里の場合80名+4、3=19となります。

(通所部にも定数がありますが話しがややこしくなりますので、入所部だけ考えていきます。)それに重度加算の6名(本当は定数には入らない数ですが、また、重度加算の算式については省略します。)を加えると25名となります。80名の利用者も25名で援助していくこととなります。

完全週休2日制になったのはいいことですが、4、3という絶対数そのものは変わりませんでした。

当然、定数も変わりません。入所型の三気の里は夜勤があり次の日は「明け」といって午前9時に勤務が終了します。(実質は朝の掃除が終わる午前9時30分頃まで自動的に手伝わてくれます。)

一カ月の(平均)公休8日+平均夜勤5回、故に「明け」も5回=13日。この13日は基本的に作業等に入らない日数なので一カ月を30日とすると実際作業に入り、利用者とは日常を共にする日数は17日となります。これを25(名)で乗じた数値を30(日)で割ると一日の平均勤務者数が得られます。約14名です。これで利用者数80名を割ると5、7およそ6名となります。一日の直接処遇職員一人当たりの利用者数です。さらに、通院や出張等で毎日2、3名の職員が外出しているの一人で7、8人見るということとなります。

三気の里では現在、一瞬でも目を離すといなくなってしまう人、蛍光灯、ガラス等を割るといった破壊行為をする人、他人への暴力行為が見られる人、自傷行為が激しく生命にかかわるような問題を呈している人等を職員が必ず付き添うようにしています。その数は12名です。ということとは、どういうことになるかお判りいただけますでしょうか。

ことは別の機会に譲りたいと思います。今回は、数にだけこだわって、概要を書きました。

二、自衛消防訓練

五月十五日に自衛消防訓練を実施しました。非常ベルが鳴り、職員「火事だ」という声とともに全員が素早く運動場へ避難しました。時間にして7分もかかりませんでした。(全職員が出動する日に実施しているためです。)

消防署の方より三気の新人職員へ消火器の取り扱いの説明があり、実際に消火訓練を行いました。その後、消防署の方より講評をいただき、訓練は終わりました。

三気の里では全職員定数より11名(重度加算枠が6名なので実質は5名)多くの職員が働いています。(パートタイマーの4名は除いた数値。)それでも数が足りません。職員の方は一生懸命頑張っていますが、限界があります。故田中施設長が自閉症者を中心とした施設の実状(特に職員定数を見直して欲しいこと)を具例にお願ひさせていただきました。その思いが少しだけ私にもわかるようになり、非常に重要な問題ですので詳しい

複雑怪奇な話しをもう一つ。夜間想定訓練を実施するように言われています。夜勤者(宿直者を含む。)4名で利用者80名の避難訓練をして下さいとのこと。どういふ状況になるか容易に想像できません。行方不明者〇〇名、怪我人〇〇名だけでは収まらないかもしれせん。そうしたことから、毎年 監査で指摘を受けることから、防災管理委員会を開き検討し

ました。その結果、緊急時の利用者の動向を探ることには大きな意味があるので、(先の消防訓練においても一人の利用者の方が出口のところで足踏みをしていたためとのあとに数十名の利用者が団子状態となり暫く出られなかったそうです。)リスクはあるが一度行ってみることにしました。

しかし、昼間、全職員を勤務にして、数名は園内に配置して夜勤者4名の加勢をせずに、事故が無いように見守らなくてはなりません。残りの職員は、施設の外の要所に配置させ、利用者の方がいなくならないように見守らなくてはなりません。何をやるにしても大変なことばかりです。



開園園日記 今心 忍

植本 英也

4月26日(日)に快晴の中、12周年開園記念祭が開催されました。今年は式典の中に新たに三気の家のダイナミックリズムが加えられ、

ハンドベル演奏が大人らしく、静かといった感じで、ダイナミックリズムが元氣一杯で、動々といった感じで、素晴らしい共演を披露してくれ、出席者全員に感動を与えてくれました。(故 田中施設長も天国で喜んでおられたことでしょう。)またイベントコーナーでは、どうにかこうにかゴールにたどり着けたスタンブラリー・オリエンテーリング。美味しさの余り品切れ寸前だった飲食コーナー。昨年同様大人気のキッズコーナー。上手く出来そうで出来ない木工コーナーなどそれぞれ工夫がなされたコーナーが一杯で楽しい時間を過ごすごうができました。来年は今まで以上に楽しいコーナーが続出してくれることを期待しています。最後になりましたが、御多忙の中、開園記念祭に協力していただいた来賓・保護者・九州ラーメン党・ボランティアの皆様方、本当にありがとうございます。来年も多数の参加を待っています。



食養生習業中

5月に入り、日差しが強くなってきました。女性にとっては日焼けの気になる季節ですね。そこで美肌を保持するためにはビタミンCをいつもより沢山取り入れるといいですよ。その代表的な食品と言えばレモン。他にトマトやピーマンなどにも多く含まれています。

(レモン) : 揚げ物・焼き物の付け合わせに。
ジュースやお菓子に。
(トマト) : 冷やして生のまま食べる。
トマトジュースにして飲む。

※市販のトマトジュースは糖質が多いので、薄く輪切りにしてサラダに。
(ピーマン) : 生は嫌と言う人は炒め物やお浸しに。

※ビタミンCは熱に弱いので過熱は避けてください。

この様に食べ方を変化させるといいと思います。ここでダイエットの方にお勧めしたいのがトマト。脂肪の消化を良くするペクチンの働きが見逃せません。食前に食べると満腹感が得られ、しかもお肌

がすべすべ。ポイントとして、塩など何も付けずに食べることと、よく洗って食べることが重要です。それから、タバコを吸う人、ストレスの多い人もビタミンCを多く取るとういことですよ。これで今年の夏バテさんサヨナラ。 恵良



後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぼ」をお送り致します。

振振り込み先

口座番号

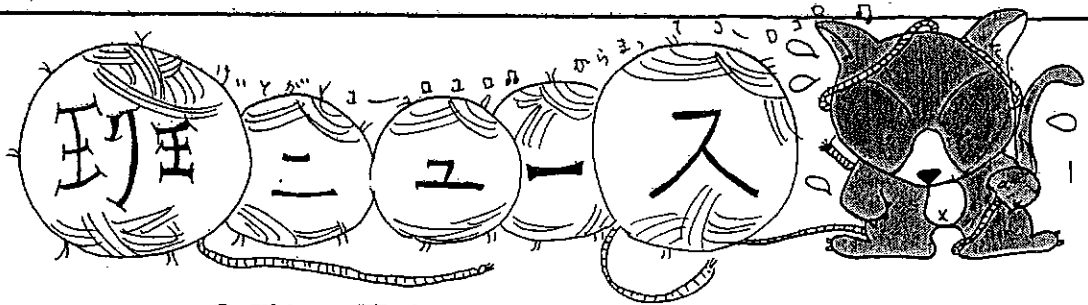
0197018114902

社会福祉法人 三気の会後援会

住所

熊本県菊池郡大津町森5412

一口 3千円



2班・曇り空の下バーベキュー

5月26日レクリエーションで緑川に行く予定でしたが、天気予報で大雨。予定を変えヒゴダイキャンプ村に行きました。あいにく雨は降っていませんでしたが、どんよりと、今にも泣きだしそうな雲。雨が降りださない事を祈りながらバーベキューの準備。その間は園生はキャンプ場の中を散歩。2人の職員は、もどってきたらすぐ食べられる様に、急いで肉を焼いて準備OK。お腹をすかせて戻ってきた園生は、紙皿に盛り分けてもらい、さあいいただきます。タレまで飲んでおかわり。「自分でもらいにおいで」と呼ぶとすぐ来る人。皿だけ上に持ち上げて「下さい」と言っている人。ワインナーをもらうまで待っている人。皆、おなか一杯。食後の運動で又散歩。近くに牛が放牧。なぜか近づいてくるので「ん？」と思っていると赤い服を着た園生、職員数名。これに反応した？と思いつつも散歩は続く…。キャンプ場を後にして、池山水源でのんびり。おいしい水を皆、一口ずつ飲み気分もさわやかな中、帰路につきました。

八木

3班・梅雨といえば…

暖かな陽気の春を過ぎ、もうすぐ梅雨入り。押し入れの湿気が気になりますよね。そこで、我が班のすのこはいかがですか？

今年の木工班は、すのこづくりに挑戦しているのです。それでは、すのこをつくっている皆を紹介しましょう。まずは、カンナがけ。職員が大きな機械で板をカンナがけするのを、手伝っている哲ちゃん。その板をジグにセットし線を引く希久ちゃん、剛くん。線の上をノコギリで切る憲一くん、稔くん。そのとき板を押さえてくれる一章くん、武文くん。カンナで板の角を落とす大介くん。板からすのこへと、クギ打ちをして組み立てる誠くん。出来上がったすのこにペーパーがけをする暁くん。そのわきで、糸ノコギリを使い小物を切っている修一くん。

皆上手に道具を使い、とっても楽しそうで、にこにこしながら作業を進めています。まだまだ完璧とは言えませんが、木工班の心が込められたすのこ、一見の価値あり、ですよ。

岩本

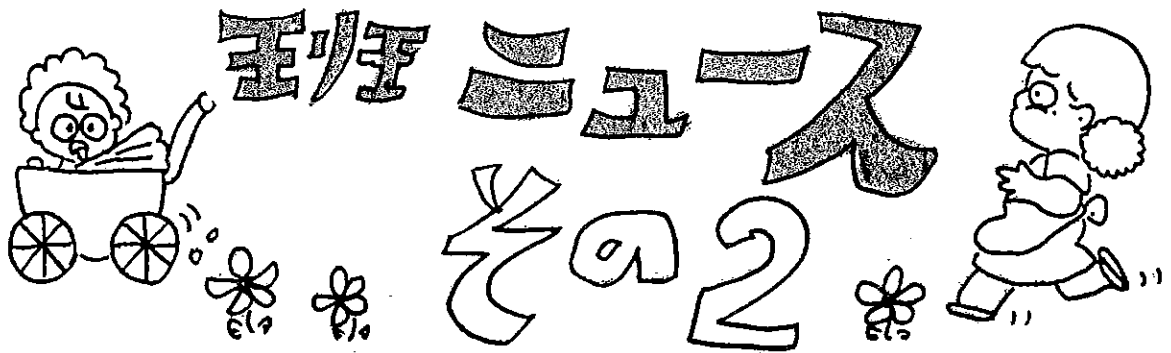
4班・梅雨はいつから…(?)

緑が目美しく映り、過ごしやすい季節となりましたね。皆様はいかがお過ごしでしょうか？

さて、私たち農耕班は、去る5月12日(水)にレクリエーションが行われ、甲佐町にある緑川河川敷でバーベキューをしました。“春”というには暖かすぎる程の陽気の中、ジュウッとお肉の焼ける音といい香り…。「もう待ちきれない!!」という様な顔をして、鉄板の周りでウズウズしていた潔君、高志君、浩ちゃん、創さん。「次は何が焼ける？」と、いつもよりたくさんおかわりをしていた、隆博君、久美ちゃん、藍ちゃん。奇麗な木漏れ日が入る涼しい木陰で、いっぱいになったお腹をゆっくりと休めていた新一君、緑恵ちゃん、聡君、るり子さん。おやつもとっても豪華で、皆ニコニコ笑顔。大満足だった様です。

さあ、皆!!その素敵な笑顔と、バーベキューでつけた体力で、ジメジメした梅雨も、厳しい暑さフツ飛ばして頑張りましょう。

広瀬



5班・見て見て園芸班

今日は我が園芸班の作業をちょっと御紹介します。

4月に種を蒔き、例年になく発芽率が良く、温室内は苗が所狭しと並び緑一色。光紀君、しーちゃん、武ちゃんがポットを並べ、由美ちゃん、博君、やっちゃんが土を入れ、典君、泰ちゃん、敬ちゃんが苗を移植し、陽ちゃんがそれらを窓際に運んでくれるという、素晴らしい流れで作業をしています。本当は職員はいらぬのでは？と思う程、それぞれが作業を自分のものに出来つつあります。その成果が花苗に表れており、今蕾が出始めています。このままではもったいない。皆のこの頑張りを皆様に見て頂きたいと思い、三気の里花いっぱい運動を目指し、温室前の畑に花壇を作っています。まだまだアニメのトロロのように小さい花壇ですが、6月、7月には色とりどりの花たちが花壇一面を飾ってくれる予定です。乞うご期待！

P.S. 保護者の方へ。5班の職員に捕まらないように注意して下さい。きっと『見て』と、自慢の花壇へ連れて行かれてしまいますよ。

佐藤

6班・ハイキング

5月23日(日曜日)園の外は雨、もうすぐ梅雨に入るのかと思うと気持ちまで、ブルーになってしまう今日この頃…皆様いかがお過ごしでしょうか？

そんな梅雨入りする前に私達6班は、2回目のレクリエーションで立田山自然公園へ行きました。その日の天気は快晴で、ハイキングするには丁度良い日でした。日頃鍛えている足で、皆で立田山展望台を目差して、前へ前へと進み歩きました。目的地に着くと、立田山から見える180度の熊本市の風景を皆でベンチに座り見ていました。(丁度散歩に来られていたおじさんは、びっくりしていた様な…)一息ついた後は、皆で広場へ移動し、芝生の上で横になる人、芝生の上で走り回る人(誰だか分かりますよね。)それぞれ自分なりに疲れた体を休めていました。

緒方

7班・IN THE RAIN

「イヤ～。動物園に行く～。」5月19日の朝から洋一くんは半べそをかいていました。7班の5月のレクリエーションは、動植物園の予定だったのですが、久々の雨の為、急速クリスタルモール浜線で、買い物・カラオケになりました。洋一くんだけではありません。亮くんも泰彰くんもチェックして感じでした。本当に皆楽しみにしていたのに残念。残念と言えば、信ちゃんが熱発、猛くんが入院して、レクリエーションに行けなかったのです。Wショックで、後ろ髪引かれる思いで出発しました。出発寸前まで「行かナイ」と言っていた洋一くんは、クリスタルモールに着くなり、「ゲームする。ギンガマン歌う！」一番のりのりでした。昼食は、皆の大～好きな焼き肉をたらふく食べ、満足そうでした。満足した顔でプリクラも写り、また一つ楽しい思い出ができました。今度は絶対、動植物園に行きたいね。そして信ちゃん、猛くん、早く元気になってお出掛けしようね。

東内

1 班・祝初体験！！の巻

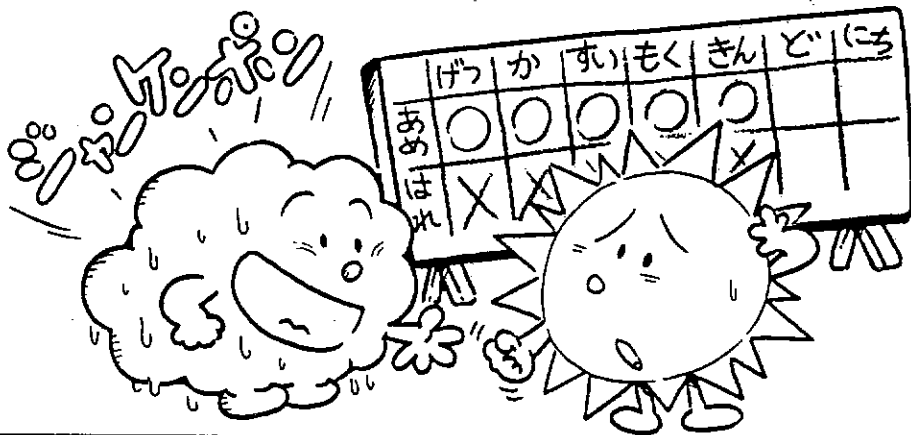
“ネンずれば通ずる”ってあるんですねえ…。今月の一班レクリエーションは、初体験らしくそんな奇跡の中でのスタートでした。久々の恵みの雨も、私達には頬を濡らすだけ…。ちょっとブルーな気分に乗った車の中は、みんなの張り切った装い（半袖・半ズボン・サンダル）と迫力に押され、いつの間にか大賑わい！（さすが一班）などと感心しているうちに、どんより雲も何処へやら、瞬く間に真っ青な晴れ間。宇土・長浜ハワイ館よ、アロハ～★…申し遅れました、今回皆の初体験と申しますのは、「潮干狩り」でございます。

サンサンと照りつける太陽も、ちょっと今日のはかわいく見えたりして♥皆の顔もデレデレにほころんでいます。まずは、自分たちで前々から選んでいたお弁当で腹ごしらえ。あっという間に終了。（もちろんです。）早速ハワイ館の大将の案内で、みんなは初めて手に取る“熊手”を手に、恐る恐る海の中へ。裸足で入る海の中…こちらの心配をよそにグングン突き進みます。ちょっと苦手な建ちゃんも、そーっと歩いてやって来ます。さぁーて、「貝掘りヨーイスタート！」まず大喜びは健二くん。笑顔が止まりません！大好きな金ちゃんの横でもうデレデレ。職人の如く掘進めるは松井君、あらゆる所を掘続けながら砂のかき氷製作に夢中だった英ちゃん、一緒に掘ろうよ！と誘いの手を伸ばす俊ちゃん、掘った貝をきれいに洗うのはきれいなよっちゃん、そして掘り出した貝を集めてくれるのは憲吾君。皆いつの間にかお仕事です！舞くんは、気持ち良い水の中で楽しそうに歌っていたり、勝ちゃんは砂のキャンパスに夢中でお絵かきを楽しみ、功一くんと建ちゃんは、のーんびり掘ったり足を泥にからませ遊んだり…職員は、もちろん皆の明日の朝食の為に、したたる汗を拭う暇も無く、ひたすら掘って掘って掘続けていました。とにかく楽しくて、楽しくて、すてきな一日でした♥今回病気で寝ていたまーくん、今度は絶対行こうね！

大石

8 班 - 外は雨、心は晴れ晴れ…

5月18日、菊池溪谷散策を目的にスタートしたレクリエーション。しかし外は雨、雨、雨…。あいにくの天気にも、少々がっかりです。食事を終え少し気持ちを持ち直し、菊池溪谷へ向けて出発。着いてみると冷たい風が吹き、散策するのはちょっと…という天候。その時、「な～んこんぐらいなら大丈夫！」と富田さん・松島さんの一声。その一言に「じゃあ行ってみようか」と、山道の散策へと出発した荒毛さん・松島さん・富田さん。その後を遅れて中嶋くん・溝塩さん・神沢さん・有働さんが出発。バス待機した福永さん・上田さん・光山くん。第2グループは途中で雨に降られ断念。第1グループはというと…雨の中木々が傘変わりになってくれたお陰で溪谷の水へとたどり着き帰って来ました。赤らんだ顔には笑みと汗が光り「あ～いい運動した」と、心は晴れ晴れの様子。天気は雨でも皆の心は晴れ晴れで満足したレクリエーションでした。今度は晴れた日にいい汗かこうね☺ 南



療育育性雑誌記

施設での生活

今村 由紀

今年度より療育雑誌を課長と各リーダーの10名で書く事になりました。経験年数も幅広くなり、各々が今、思っている事・考えている事を文章にしていけます。

今年に入りすぐ、インフルエンザの大流行で三気の里の皆も随分きつい思いをしました。しっかりインフルエンザをもらった私は、二度もかかってしまい、日頃、気にもとめない健康である事・毎日おふろに入れる事の幸せを、今まで生きてきた中で、この時程感じました。インフルエンザが治った頃、地元の20代前半の女性がスキートの事故で亡くなったというニュースが入ってきました。自分がその人の立場だったら……。命は今日、明日どうなるのかわからない。やりたい事・やるべき事・自分にしか出来ないことを日々、しっかりやらなければならぬと思います。

私達は、自分の担当・班だけでなく入所80名+通所1名の81名全

員の命を預かっています。4月から、今までの作業班ごとから各班バラバラの生活棟(居室割り)になりました。掃除終了後、作業棟への移動や洗濯物たみ・入浴準備の際など職員の動きが多くなり複雑なものになりました。全職員が班だけでなく全体(全員)をみる為に今、この体制が必要でした。生活の中心を施設にしている皆にとって、三気の里はまだまだ生活しやすい場ではないと思います。

これだけ大人数での集団生活、皆が何らかの形で迷惑をかけあって生活しているはずで、目立つか目立たないか、目に見えるか目に見えないかの違いだけだと思えます。職員の統一されていない指導も、皆にとっては迷惑なものとなるでしょう。混乱させない声の掛け方、声のトーン、表情など職員は気を付けて接していかなければなりません。何事も未然に防げるよう目を、気を配り、工夫して臨機応変に対応していく事が大切です。

衣替えの時期になると、新しい洋服がタンスの中に入る事が多くなります。各々、いろいろなこだ

わりをもっていきますが、ラベルを気にする人が数人(決して1人だけではありません)います。ラベルがついていると、気になって外してしまい、その場に職員が出勤と怒る。怒られる場面となってしまいます。ラベルを外すと(引っぱって取ると)服に穴が空いてしまいます。服が破かれてしまうのでラベルを外す事は誉められる事ではありません。けれど、ラベルを外すと分かっていて付けたままにしている方が悪いのではないのでしょうか。保護者の方たちは細かい作業が難しい年代になられています。その分、職員がカバーしていれば服に穴が空く事もなく、怒る事も怒られる事もなくなり、誰一人嫌な思いをしなくて済みます。数人だけではカバーしきれません。全職員で気を配って、三気の里の皆が健康的で楽しく、より幸せに暮らしていける様、ともに頑張っていきたいと思います。

二十歳になった娘

楳木 徹



娘は、熊本養護学校の高等部に居たころは、同級生や周りの大人とトラブルばかり起こしていました。入所前相談に応じた、田中前施設長は「そりゃあ、そうですよ。今が丁度反抗期に入っているんですから。」と明快に答えて下さいました。以来、一年半お世話になっていきますが、毎週送迎をする度に「お父さん、運転お世話になりました。」等、家族の他の者が誰も口にする事のない優しさが育ってきています。

先月、新聞にダウン症の息子さんを中心に営業する町のコロッケ屋さんの話が載っていました。障害があるだけで、あとは何も取柄がないのかと、短絡的に考えがちな自分を反省するこの頃です。



ポランテア通信

若葉青葉を渡る風もすがすがしい季節となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

去る4月25日(日)、三気の里開園記念祭に、大勢のポランテアの方々にお越しいただいたことを、職員一同心より感謝申し上げます。ポランテアの皆さんのお陰で楽しい開園祭となりました。ありがとうございました。

早速ですが、三気の里では作業や行事に参加してくれるポランテアを募集しています。詳しくはポランテア担当(南・麻生・笠松)までおたずね下さい。多数の方の参加をお待ちしています。 麻生



(ポランテアありがとう)

☆生け花

西村 栄子

☆散髪

高野 真也・甲斐 絹代

金子八重美・宮本 博雪

緒方さおり・中尾亜由美

野田 里美・田畑美智子

☆開園記念祭

丹波 梨恵・山下 莉恵

白川 涼子・内村 仁美

亀井さやか・今村 海

杉本 恵・成松 瞳

藤岡 千夏・稲葉 あや

江藤かおり・岩下 美雪

東 依利奈・高橋まなみ

渡辺 弘史・谷口知嘉子

丹波 明美・西本 由香

泉田 龍亮・本田 和樹

須崎 純一・草野 彩

小野 リカ・栃原佐野香

安武真由美・隈部 知佳

西本 恵子・山下 美香

後藤 優紀・戸上 恵理

曾我 葵・守口 憲子

大塚 朋子・深水 愛

坂田 美紀・渡辺 えみ

坂本和津江・赤城 由佳

荒牧 静佳・河上 知美

江藤 仁美・坂本 理恵

濱田ルイ子・榎本 千保

広瀬 佳子・神鷹 雅子

森田 博美・緒方 瞳

田代 美香・古庄 華子

坂口 美香・笹原 都美

竹本 昭子・益田 明子

立山 理・東坂 圭子

竹下由希子・篠原 沙織

改喜 沙織・松永 恵美

酒井 志帆・大柿 麻美

高木智恵美・西嶋 美穂

中村 亜矢・本田 愛

山内美由紀・田上 伊都

東 裕子・藤原 真希

矢野亜子佳・緒方 泉

荒川 郁子・中垣 知子

太田黒幹子・中尾 麻美

下城良之介・伊藤美智枝

熊迫 直子・廣田 絵弥

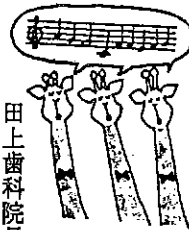
菅原明日香・宮崎 美貴

長渕さくら・本田 華絵

中川 富美

☆歯科検診

田上歯科院長



☆ブラッシング指導



前淵 隆子・江口 早苗

池上 沙織・井上由美子

岩下ゆかり・岩見 琴

上川亜由美・上野 美和

江崎 弘子・江崎ゆかり

大塚 美希・大森美由紀

押川真里恵・久保 真希

熊丸 理恵・米野 里絵

境 亜衣子・阪本 扶美

佐藤 千賀・嶋田 百合

陳田由布子・住田 美香

高戸 道子・高野 勲子

瀧下 美波・楯岡 美佳

反頭由紀子・富崎 由香

中嶋美代子・中山 ゆみ

西尾 直子・橋本 美紀

島村 知里・東 ゆかり

久野 ゆき・平田由香利

淵川 一美・船津 智子

前田 美穂・牧田 友好

松岡 祥子・松谷 実貴

松原 愛・森山 亜喜

矢嶋 恵・松村 真美

中村津見子・富永万里子

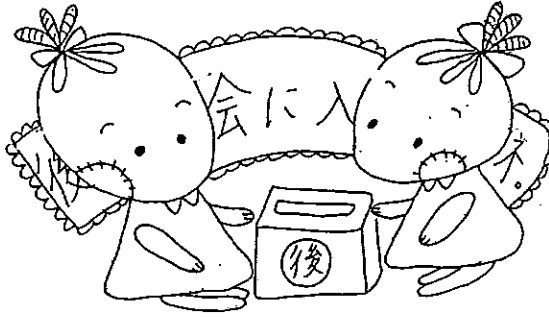
※敬称略



後援会ありがとう

- 田中 稻男・佐藤 千種
- 宮崎商店 ・ 南田 義綱
- 吉本香久子・渡辺 真理
- 藤野 辰雄・益田 英宏
- 松本 真二・中村 涼子
- 室園 典子・矢鋪 涉
- 古木 満雄・麻生 憲剛
- 坂田 美和・田口 康博
- 坂口 正浩・杉本三千昭
- 百崎 末雄・児玉 明
- 家人 憲隆
- 九州ラーメン党
- くすのき子供歯科

※敬称略



ブラッシング指導

八木 良江

5月12日(火)熊本歯科技術専門学校より、43名の学生の方がブラッシング指導の実習で来園されました。午前中は各班に入り、作業を一緒に頑張りました。各班6〜7名の学生さんが入り、一緒に作業。外作業の班の学生さんは、タオルを頭や首に巻いて園生と一緒に汗を流して頑張っていました。午後からは、学生さん達もナースの姿に変わり、ブラッシング指導の始まり。園生は朝はジャージ姿、午後はナース姿のお姉さん達の見学振りを見て、目を白黒させていました。慣れない手つきの学生さんたちを前に、口を開けてくれない園生、説教をする園生等様々。中には、いつも嫌がるのに今日はとてもおここうに口を開けてくれたり、静かに座っていたり、楽しい光景があちこちの作業棟で見られました。ブラッシング指導の後は、田上歯科の田上先生による歯科検診がありました。その時も学生さん達と一緒に。今日は1日若いお姉さん達が沢山で、喜ぶ園生多数(男性職員も)後ろにずっ

と付いていたり、ニコニコ(ニヤニヤ)して嬉しそうに見てたり、今日は1日若き溢れる三気の里でした。

最後に学生の皆さん1日お疲れ様でした。田上先生、ありがとうございました。

P. S 田上先生より「園生皆の歯、奇麗ですね。」と、お誉めの言葉を頂きました。

研修報告

大石 由紀

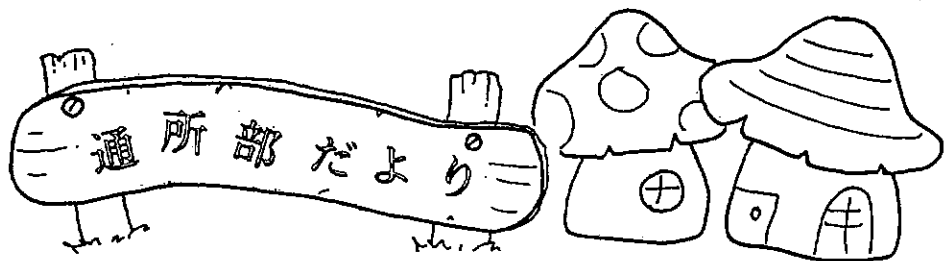


先生の講演と合わせてのディスカッション形式で行われました。

今回は実際の教育現場における取り組みが中心となりましたので、三気の里に密着した内容とは若干異なりはしたものの、療育の基礎となる大切な理念は、我々が常々持ち続けているものと相違なく、改めてこれまでの自分の姿を振り返り、反省する良い機会となりました。また、年毎に進歩する医学を目の当たりにし、療育者として常に新しい情報を吸収し、現場に生かせるよう日々努力しなければならぬと痛感しました。彼らに少しでも住み良い社会になるためにも、彼らを理解する一人として、まずは、自分の家族や友人から伝えて行こうと思います。皆さんも興味がありましたらいつでもお尋ね下さいね。

去る5月3日・4日の二日間、東京で行われた「第二回・ADHD児の理解と教育セミナー」に参加して参りました。ADHDとは、
* 注意集中困難及び多動障害、というものです。今回は、このADHDを中心に学習障害(LD)や高機能自閉症(HFA)など境界域にある障害についての理解を深めると共に、実際現場で関わられている先生とADHD児の両親をパネラーにお迎えし、佐々木正美





6月の通所部行事予定

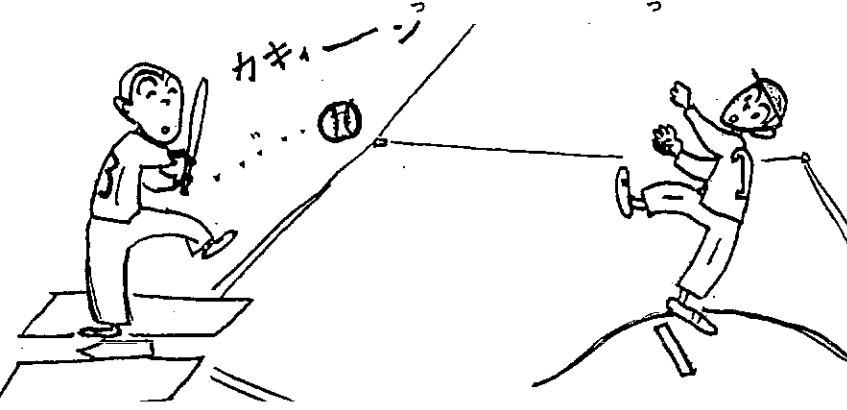
日	月	火	水	木	金	土	備考
		1	2	3	4	5 休み	
6 休み	7	8	9 レクリエーション	10	11	12	
13 休み	14 休み	15	16	17	18	19 休み	
20 休み 学調研の誕生日(24)	21 誕生会	22	23 健康診断	24	25	26 休み	
27 休み	28	29	30	9日(水)レクリエーション 12日(土)保護者会 20日(日)学調研誕生日おめでとう 21日(月)誕生会 23日(水)健康診断			



通所部通信

毎日暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。暑さに少々バテ気味ですが、少しづつ体力を付けていきたいですね。

さて、去る5月13日(木)に、立田山自然公園へ行ってきました。天気は最高に良く、私たち3人にぴったりな陽気となりました。広場へ着くと、合宿で来ていた養護学校の先生が「享嗣君」と声を掛けて下さいました。「ちょっと太ったんじゃないの?」と言われ笑ってごまかしていた享嗣君。でも先生の名前もしっかり覚えており、何度も何度も「なつかしかー」と言っていました。美味しいお弁当も食べて、おなかもいっぱいになった所でお昼寝でも...と思っていたら、隣で養護学校の生徒達が野球を始めていました。それを見て近づいて来る享嗣君に先生が「享嗣君もするね」といわれ、満足をうに加わりました。バッターボックスに立ち「ストライク!中々あたりません。「頑張れ享ちゃん」コッソリ、「あたってー走れえ」その後もしりについてたりランナー担っ

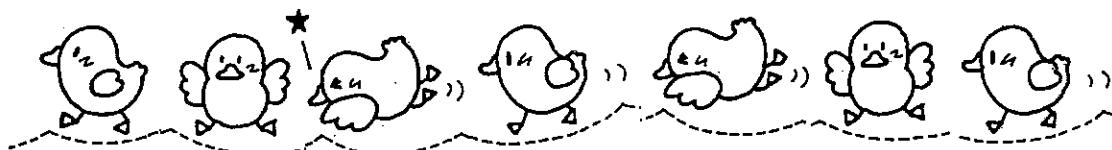


たり、チームに貢献した享嗣君でした。野球好きな享嗣君にとって、とても楽しいレクリエーションだったのではないのでしょうか?

今度のもっとヒットを打てるように6月はバッティングセンターへ練習に行く予定です。 西山

6月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
12日(土)保護者会 25日(金)たんぼほ福袋 24日(木)誕生会	23日(水)健康診断 26日(土)帰宅バス	1 福永さんの誕生日(33)	2	3 7班レク	4	5	
6	7 洋一くんの誕生日(18)	8 6班レク	9 友和くんの誕生日(23)	10 4班レク 林田くんの誕生日(25)	11	12 保護者会	
13	14	15 3班レク	16 8班レク	17 5班レク	18	19	
20	21	22 2班レク	23 健康診断 松井くん(26) 竹下くん(24)の誕生日	24 誕生会 1班レク	25 たんぼほ福袋日	26 帰宅バス	
27	28	29	30	福永さん・洋一くん・友和くん 林田くん・竹下くん・松井くん お誕生日おめでとう!			



輝き十八云

竹下 儀寿

去る5月9日、長陽村の長陽中学校体育館にて、第6回輝き大会(菊池・阿蘇ブロック大会)が行われました。三気の里からは、18名の園生が出場しました。皆の大健闘で、殆どの競技で上位に食い込む中、1位だけがとれずにいました。その時、救世主は現れたのです。彼の名は洋一くん。大玉転がして、パートナーの福罵さんを一人残して、ズバ抜けた速さで大玉をいとも容易く転がしたのです。彼の活躍で三気の里は、その種目で念願の1位になることができました。昼食事には、太鼓のアトラクションで場内は盛り上がりました。中嶋くんも実際に太鼓をたたくことができ、非常に満足そうでした。最後はマイム・マイムを全員で踊り、その名の通り、皆が輝く事ができた大会となりました。私もパン食い競争に出て輝くことができたかなあ〜?と思ったりして...



お礼

今回、歯科検診の為に田上歯科医院、熊本歯科技術専門学校の方々の御協力を頂き無事、終えることが出来ました。誠にありがとうございました。



編集後記

ご無沙汰しております。編集後記を楽しみにして下さっていた読者の方々申し訳ありませんでした。久しぶりの編集後記となり、編集後記を書く順番も分からなくなる程で、みんな心優しい人ばかりで譲り合いながら、結局、わたしくし名ばかりの編集長「石井」が書くこととなりました。

今年度(5月号)より新たに班ニュース(班数の増加の為)・通所部だよりのコーナーができ、ページ数も増え更に充実しました。今後も機関紙「たんぼ」並びに『三気の里』をよろしく願います。